

一般質問とは

議員が議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。



議会Q&A

- Q** 一般質問はいつ行われるの？
- A** 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。
- Q** 質問時間はどのくらい？
- A** 1人1回おおむね1時間以内です。
- Q** 傍聴はできるの？
- A** だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。

避難所に水質検査キットを 貫井北町に公園を



吹春やすたか(自民党小金井)
Q 市の震災対応について問う。
A (ア)骨折、脱臼、捻挫、打撲などに、素早く対処が可能な柔道整復師会との連携は。(イ)市役所本庁舎に耐震補強を施し、大震災に備えないか。(ウ)市内には複数の井戸が存在している。避難所開設時は、水の供給のために井戸水の有効利用が望まれるが、

水質による健康被害は避けたい。避難所に水質検査キットとろ過器を配置しないか。
総務部長 (ア)医師会、歯科医師会、薬剤師会及び柔道整復師会とは協定を結び対応に備えている。今後も研究してまいりたい。(イ)新庁舎建設と密接に関係しており、総合的に検討したい。(ウ)小中学校に17台の手動ろ過器を備蓄している。提案の水質検査キットの備蓄は検討したい。
貫井北町地域には、子育て世代にとって親しめる公園が少なく。今後の対策はどうか。
環境部長 指摘の地域の現状は認識し、必要と考える。市全体の公園整備として検討したい。
3市内スポーツ施設にボルダリング設備を導入し、新たな魅力として発信しないか。
生涯学習部長 複数の点から魅力的で注目されている競技と認識している。提案は多角的な観点から調査していく。

全ての人が共に暮らすまち 小金井の実現へ



鈴木成夫(市議会民進党)
Q 高齢者や子育て中の方を含め、支援や配慮が必要な方の乗降スペースを各駅に設置しないか。
市長 人が多く集まる駅前広場の乗降スペース設置については、警察署及び関係機関と協議し、改善できるよう努力したい。
2 廃棄物適正処理と市の環境負荷軽減の取組状況は。
環境部長 リサイクル推進協力店参加は、中小店舗にメリックがないことが唯一の欠点。商工会などの意見を聞き、要綱の見直しを検討していきたい。
福祉保健部長 在宅医療の使用済注射針の排出が多くなり、市民やごみ収集作業員の針刺し事故による感染防止の観点から

大きな課題である。薬剤師会と協議し支援の検討を進めたい。
都市整備部長 蛍光灯比で6割の電力削減、5〜7倍の寿命、補修対応の軽減化が図れるLED街路灯の採用を進める。
3 地域が命を守るまち小金井の実現に向けて、防災の取組は。
総務部長 商店会との災害協定、今後どのような協力体制が構築できるか検討したい。商店会の自主防災組織結成は想定していないが、町会・自治会に参加し、共に地域防災の一翼を担っていただきたい。

計画的に路面下空洞化 調査を実施しないか



小林正樹(公明党)
Q 道路の陥没事故で、最も多い下水管の劣化が原因とみられる事故は全国で年間5千件を超える年もある。市内下水道管の総延長は約245kmあり、今後、更新のピークが来ることから、計画的な管理が重要であり、多額の財源と期間が必要となる。計画的に超音波による路面下空洞

化調査を行い、管の劣化箇所を発見し、優先順位を付けて道路と管の修繕を同時に行うべきではないか。
都市整備部長 全ての道路について、目視による点検では道路の空洞化を発見することは難しい。ご提案いただいた超音波による路面下空洞化調査について検討したい。
2 市民が自発的に健康維持に取り組み、元気に日常生活を送れるよう包括的な対策を求める。
(ア)安心してお出かけできるように、おもいやりベンチを設置しないか。(イ)公民館緑分館を適正な明るさにしないか。
都市整備部長 (ア)設置場所の選定を始めたい。
公民館長 (イ)今年度中に改善できるように努力する。
その他、空き家を活用した居場所づくりや、楽しく運動できる工夫等を提案しました。

福祉会館と市庁舎の 複合化の合理性を問う



百瀬和浩(リベラル保守)
(ア)大規模災害の発災後、災害ボランティアの受入れを担う社会福祉協議会を福祉会館に設置することが決まっているが、災害時の福祉会館機能についての見解は。(イ)大規模災害が発生すれば、市庁舎に災害対策本部が置かれる。市庁舎と社会福祉協議会が置かれる福祉会館の連携

が必要になり、複合化は合理的であると考えるが、見解は。
福祉保健部長 (ア)新しい福祉会館の求められる理念の一つとして、災害発生時、災害ボランティアの拠点となる施設を掲げてきた。また、地域防災計画にも社会福祉協議会の役割としてボランティアの受入れの体制整備を行い、災害発生時に備える

安心の幸齢者対策について



渡辺ふき子(公明党)
Q 高齢ドライバーの運転ミスによる悲惨な事故が増加している。(ア)市内の自動車教習所と連携して70歳以上のドライバーに対し、1年ごとに認知機能検査を実施する等、市独自の安全運転対策を考えないか。(イ)運転免許証の早期自主返納を進めるため、75歳以上の市民のココバス

利用料金を無料にしないか。
都市整備部長 (ア)市内の教習所では70歳以上のドライバーに対し、免許更新時に講習会を実施している。平成29年の道路交法改正も含め研究する。(イ)貴重な意見として参考にする。
市長 小金井らしい取組を検討する。
2 認知症カフェの利用が広がっている。(ア)場所の確保等、市が後押しして集いの場を拡充しないか。(イ)介護者の手引きにもなる介護者手帳を市で取り入れ、市民に周知しないか。
福祉保健部長 (ア)認知症カフェは心強い存在。国や都の助成金の活用を視野に研究する。(イ)認知症ケアパスと介護者手帳を比較し、研究したい。
市長 市民の力やアイデアが反映できるよう取り組みたい。
その他、青少年の健全な成長と、桜樹の保護について質問しました。

小中学校、特に四小の雨漏り対策を



遠藤百合子(自民党小金井)
Q 全学校の校舎の耐震工事が終了し、非構造部材の耐震工事も進む中、各学校の雨漏り対策が必要である。(ア)四小の状況を拝見させていただいたが、その対応は急を要す。今後の対応は。(イ)各学校の雨漏り状況に応じ、随時対応を。(ウ)都へ予算要望を。
学校教育部長 (ア)現状を調査し、対応を検討している。(イ)各校の実情により、優先順位をつけて修繕している。(ウ)老朽化対策として予算要望している。
教育長 平成29年度の予算に要求していくよう指示している。
2 ココバスの貫井前原循環の千手院東バス停にベンチ設置を。
都市整備部長 関係部署と調整していきたい。

3 小・中学校でのパソコン及びタブレット授業の推進を。(ア)各学校の現状と前原小の取組は。(イ)新たなタブレットの整備を。
学校教育部長 (ア)平成27年度、28年度は東京都ICT教育環境整備支援事業指定校として、一小、東小、東中が取り組み、平成28年度は前原小が総務省の若年層に対するプログラミング教育の普及促進事業に取り組みしている。(イ)導入を検討している。
市長 取組を応援したい。
その他、下弁天子供広場周辺の通路の改善を質問しました。